

『講演会通信』 神の力による伝道

JAPAN2017EVANGELISMUPDATE

創刊号

2017年
1月

伝道フィールドスクール（実践的伝道訓練）来日！

日本の教会でついに実践的伝道訓練が始まります。実践的伝道訓練は今年の1月から10月までの予定です。実践的伝道訓練では伝道過程における大切な要素をいくつか行います。最初の作戦会議、教会員対象のリバイバル集会、教会員伝道トレーニング、地域伝道計画、種蒔き講演会、収穫伝道講演会を10ヶ月間で全て行います。

現在北アジア太平洋支部牧師会長、前アメリカ支部伝道センターディレクター、前アンドリュース神学校教授である、ロン・クルーゼ先生が複数の教会の伝道計画を指導してください。クルーゼ先生は日本活性化委員会の議長として、全日本18マラナ・タ計画の企画にも関わっておられます。2011年に、クルーゼ先生は700以上の教会参加を通して、7000から8000人程のバプテスマがあった、主要な伝道計画の指導者であり、説教者として活躍しました。クルーゼ先生はマーク・フィンレー牧師やドワイト・ネルソン牧師など著名な伝道者と共に働いたこともあります。



伝道計画として、まず、1月に大阪と東京で説明会を予定しています。3、4、5月にはリバイバル集会と伝道トレーニングを行う予定です。聖書的考古学あるいはキリスト弁証学をテーマに9月に種蒔き講演会を行う予定です。そして、10月には収穫伝道講演会を行います。

参加予定の各教会は、10月には、映像を通してクルーゼ先生の講演会に毎晩参加するか、その教会の牧師または別の説教者を招き、同時に講

演会を行うことになります。

10月の講演会の目的は、聖書の主要な項目すべてを伝え、出席者にキリストの教えを受け入れ、バプテスマを通して残りの民、教会員となるよう勧めることが目的です。全国すべての教会が参加するよう招待されていますが、参加は強制ではなく、各教会の自由選択によるものです。どうぞ神様が教会、教会員、そして未信者の上に力強く働きかけてくださるよう、お祈りください。

この通信は、何ですか？

これは、2017年に日本で行われる連続講演会の準備のために、10月まで毎月定期的に送られる『講演会通信』の創刊号で、フィールドスクールの情報についても取り上げます。『講演会通信』では最新情報、伝道のアイデア、伝道におけるアドバイスなどを豊富に提供していきます。それによって参加教会が情報を共有して、同じ伝道の目的に向かって一致団結することができます。

この企画に参加する教会の特典

伝道フィールドスクールに参加することによっていくつか特典があります。まず、伝道の総合的な取り組み方を教会員が実践しつつ学び、2018年の良き準備となります。次に、世界総会の専門家を含む先生方からの、適切な伝道訓練が提供されます。三つ目には、経験豊富な牧師、伝道師から指導を受けたり講演を聞くことが出来ます。四つ目には、宣伝と資料のために支部からの経済的支援があります。最後に最も重要な二つの特典は、教会員のアドベンチストとしてのリバイバルと現状を上回るバプテスマ数が見込めるということです。

クルーゼ先生との 作戦会議（説明会）

西日本教区牧師は1月19日に大阪でクルーゼ先生と会議を行い、東日本教区牧師は1月20日に東京で会議を行います。1月21日の安息日には、午前中天沼教会で礼拝説教を行い、午後には東京近辺の各教会の信徒指導者との会議を行います。仙台、福岡、沖縄などの教会はインターネットを通して会議に参加します。

クルーゼ先生は1月30日～2月2日に行われる日本教団牧師会のために再来日されます。2月3日と4日は東京近辺のこの伝道企画に参加している教会を訪問します。



ポートランドのフィールドスクールで導かれた新しい兄弟姉妹たち。

「あなたは聖霊によってバプテスマを受ける。
そして地の果てに至るまで私の証人となる。」
イエス・キリストの言葉

なぜ伝道講演会を行うのですか？

何日も続く、連続伝道講演会が本当にこの21世紀の人々に通用する伝道方法なのかと疑問に思われる方もおられるかもしれませんが、一部の方は驚くかもしれませんが、実は、研究によりますと、バプテスマに導くためには連続伝道講演会が最も効果的な伝道方法なのです。データは明らかなものです。もちろん、個人的な関係伝道、一対一の聖書研究なども非常に大事な伝道方法です。個人的な伝道を通して、聖霊が未信者と教会員の両方に働きかけます。しかし、バプテスマという決断をするためには、完全にキリストに献身する覚悟が必要です。世界中のアドベンチスト教会を見渡しますと、最もバプテスマが多いのはやはり連続伝道講演会による伝道なのです。

理由は神の御言葉の力にあります。人々が、より多く神の言葉に触れることによって、キリストに献身し三天使のメッセージを受け入れる可能性も、より大きくなります。1日や2日だけでは、たいてい短すぎてバプテスマの決断ま

でにはいきません。しかし、何ヶ月にもわたって実行する伝道計画と何日も続く聖書を語る連続伝道講演会が連動するとき、素晴らしい成功に預かることができるのです。

実は、連続伝道講演会を通してバプテスマを受けた方々と生まれた時から教会で育った方々を比べますと、伝道講演会を通してバプテスマを受けた方々の方が教会を離れる確率が少ないといわれています。この事実は、ほとんどの一般の教会員は知らない事実です。この理由もあり、聖霊に導かれた連続伝道講演会というのは、既存の教会員にも大きな影響と感動を与えて、教会のリバイバルにつながるのです。個人的な関係伝道も必要不可欠です。しかし、個人的なつながりを持つ人々を連続講演会に誘い神の言葉に触れさせることも必要不可欠なのです。神の言葉に触れさせるのが新約聖書時代の伝道方法でした。神の言葉の力こそがすべての偏見、ためらい、不信感、恐れを乗り越えて神に完全に献身する勇気を与えるのです。